

5—10 カリハヒブラ被災地域視察

バラコートに向かう途中、山間の谷底に位置するカリハヒブラ村を視察した。数日前に鉄道大臣らも視察。ここの女子中学・高校校舎が完全に倒壊し、360名の大半の生徒が犠牲となった。建物はコンクリート2階建て。完全にペシャンコである。2階にいた学生の遺体は収容されたが、1階の学生のはまだだという。すでに231名の遺体が収容されている。生き残った数少ない女子学生に話を聞くと、「怖くて学校に戻れない」と語った。不幸なことに学生の家族の半数も亡くなっている。

町の通りから横に入ると、真ん中に空き地があり、それを囲む全ての家屋が倒壊している一帯に入った。老人、中年の方や小中学生や幼児が1箇所に寄り添っていたので、被害について聞いた。その中に全壊した女子中学・高校の生徒がいた。顔に傷を負い足には大きなうみが残り、うつろな表情をしていた。震災時のことについて「何も覚えていない。ここから出ていないので友人がどうしているかも分からない」と本当に悲しげに語っていた。



被災民からの聞き取りを行う調査団



倒壊した女子中学・高校校舎